IHE日本版拡張
（DICOM編）

IHE-J 接続検証委員会

DICOMにおける日本版拡張

2011年度から DICOMにおける日本版拡張の内容が変わります。

（1）モダリティ･ワークリスト拡張　→ 2012年度は廃止

（2）日本語対応　→ 2011年度と同内容

（3）JJ1017（Ver 3.0）対応　→ Ver3.2 対応

※本資料では、（1）,（2）について説明します。

モダリティ・ワークリスト拡張

2012年度は廃止します。

ワークリストの照合キー/戻りキーの拡張

RAD TF-2 Table 4.5-3.に対して以下の拡張を行う。

2012年度から廃止し、IHE-NAの基準に合わせます

番号	属性名	DICOMタグ	照合キー		戻りキー	
			SCU	SCP	SCU	SCP
予約済み手続ステップモジュール						
2	予約済み手続きステップシーケンス					
16	＞予約済み手続きステップのコメント	(0040,0400)	O	O	O	O->R+
18	＞依頼済み造影剤	(0032,1070)	O	O	O	O->R+
19	＞事前薬物投与	(0040,0012)	O	O	O	O->R+
依頼済み手続きモジュール						
30	依頼済み手続き優先順位	(0040,1003)	O	O	O	O->R+
画像化サービス依頼モジュール						
40	依頼部門	(0032,1003)	O	O	O	O->R+
44	発注側オーダ番号/画像サービス要求	(0040,2016)	O	O->R+	O	O->R+
45	受注側オーダ番号/画像サービス要求	(0040,2017)	O	O->R+	O	O->R+
48	オーダコールバック電話番号	(0040,2010)	O	O	O	O->R+
患者診療モジュール						
110	医学的注意事項	(0010,2000)	O	O	O->R+	R

DICOM日本語対応

2012年度も昨年と同じ内容です

DICOM日本語対応オプション

【オプション名】

- **DICOM日本語対応オプション**(日本語表記)
- **DICOM** Japanese Character Set Option (英語表記)

【適用範囲】

- **DICOMベースのトランザクション**（注）
- **上記トランザクションを含む統合プロファイル**
- **上記統合プロファイルの対象アクタ**

（注）日本語を含む可能性の無いトランザクションは除く

特定文字集合(0008,0005)

特定文字集合(0008,0005) は

以下のいずれかの表記のみを許す。

- タグがない（日本語不使用）
- ISO 2022 IR 6¥ISO 2022 IR 87
- ¥ISO 2022 IR 87
- IR100　（日本語不使用:2012年度の例外許可）

患者氏名(0010,0010)

例：Kanda^Jirou=神田^次郎=カンダ^ジロウ

- 第1要素グループのローマ字表記は、必須とする。
  - 記述には、“ISO_IR 6”を使用する。
- 第2、第3要素グループの日本語表記は、記述することが望ましい。
  - 記述には、“ISO_IR 87”を使用する。

【注】

IHE-Jでは、HL7 PID-5 患者氏名フィールドの定義は

- 全角カナ氏名は必須
- 漢字氏名やローマ字氏名は任意

そのため、DSS/OFにはカナ → ローマ字（=ISO_IR 6)変換によって、患者氏名(0010,0010)の第1要素グループにローマ字氏名をセットすることが要求される。

（IHE-Jではカナローマ字変換方式は規定しない。）

DICOM日本語対応の基本原則

“DICOM日本語対応オプション”をサポートする装置は、DICOMベースのトランザクションにおいて、他のデバイス（装置又はリムーバブルメディアなど）から受け取ったデータに日本語文字(ISO_IR 87)が含まれていた場合であっても、(DICOMデフォルト文字(ISO_IR 6)のみが含まれていた場合と同様にIHEの要求事項に対して対応しなければならない。

具体的には

受け取ったデータに日本語が含まれていた場合：

【表示】

- **表示することが要求されている項目については、日本語での表示が可能なこと。**

【情報連携】

- 他のデバイス(装置またはリムーバブルメディアなど）にデータを引き渡すためにコピーすべき項目については、日本語を含めそのままコピーすること。

例：SWFの場合【表示】

【表示することが要求されている項目】

- Query Modality Worklist [RAD-5]で取得した情報の中で、表示することが求められている項目：
  - **RAD TF-2 Table 4.5-3. のQuery Keys Return/SCU欄で、R+で表記されている項目**
  - **医学的注意事項(Medical Alerts) (0010,2000)の表示は2012年度は必須としません。**

例：SWFの場合【表示】

- Query Image [RAD-14]で取得した情報の中で、表示することが求められている項目：
  - **RAD TF-2 Table4.14-1. の Query Keys Return/SCU欄で、R+ で表示されている項目**

Table 4.14-1. Images Query Matching and Return Keys

Attributes Name	Tag	Query Keys Matching		Query Keys Return		Notes
		SCU	SCP	SCU	SCP	
Study Level						
Study Date	(0008,0020)	R+	R	R+	R	
Study Time	(0008,0030)	R+	R	R+	R	
Accession Number	(0008,0050)	R+	R	R+	R	
Patient Name	(0010,0010)	R+	R	R+	R	IHE-1, IHE-2
Patient ID	(0010,0020)	R+	R	R+	R	
Study ID	(0020,0010)	R+	R	R+	R	
Study Instance UID	(0020,000D)	R+	R	R+*	R	
Modalities in Study	(0008,0061)	R+	R+	R+	R+	
Referring Physician's Name	(0008,0090)	R+	R+	R+	R+	IHE-1, IHE-2
Study Description	(0008,1030)	O	O	O	O	

例：SWFの場合【情報連携】

【コピーすることが要求されている項目】

- MWL、Image IOD、MPPS間の情報連携のために、コピーすることが求められている項目：
  - **RAD TF-2 Appendix Aを参照のこと**

Table A.1-1: Simple Case - required mapping of corresponding attributes

DICOM attribute	Modality Worklist (return attribute values)	Filling values for: Image/ Standalone IOD		Filling values for: MPPS IOD	
Study Instance UID (0020,000D)	Source	Copy		Scheduled Step Attributes Sequence (0040,0270)	Copy
Referenced Study Sequence (0008,1110)	Source	Copy			Copy
Accession number (0008,0050)	Source	Copy See (IHE-A.1.1)			Copy See (IHE-A.1.1)
Requested Procedure ID (0040,1001)	Source	equest Attributes Sequence (0040,0275)	Copy		Copy
Requested Procedure Description (0032,1060)	Source		Copy Note: extended attribute		Copy
Scheduled Procedure Step ID (0040,0009)	Source		Copy		Copy
Scheduled Procedure Step Description (0040,0007)	Source		Copy		Copy

IHE

IHE Changing the Way Healthcare CONNECTS

WWW.IHE.NET